

第48回総会 6月27日(土) 旧交を温め、新たな出会いも!



宇崎竜童さん出演



あなたの手で総会を楽しく

第48回総会実行委員長 岩井 重一 (62期)

関東同窓会第48回総会が6月27日(土)、千代田区一ツ橋の如水会館で開催されます。懇親会には、ミュージシャン・俳優の宇崎竜童さん、ジャズ・ドラマーの大隅寿男さんが特別出演し、明大OBのデキシード・ジャズバンド「ジャミング・ホットセブン」と楽しい共演を披露します。

悠々自適の年配の方、会社や団体に活躍している方、そして総会に参加したことのない若い同窓生の皆さん。年代を超えて集う年一度の「ふれあい広場」で旧交を温め、新たな出会いを楽しみましょう。

会場には会員の作品展示・頒布コーナーも設置されます。奮ってご応募ください。

◎写真、詩歌、随筆、紀行文、評論文、その他の書籍、手工芸品などの出品、ボランティア活動などの人材募集のPR、母校の思い出、班活動、同窓会・同期会・同級会活動の記録などの出品をお待ちしています。

【出品要領】出品者は展示品・頒布品を当日持参し管理する。6月10日までに出品内容をご連絡ください。

【申込み・問い合わせ先】岩井重一 (62期)
電話 03-5570-5671 Eメール: iwai@actlaw.gr.jp



前回総会の展示コーナー



受付風景

幹事長候補に

栗山正雄さん (62期)



役員改選期の昨年幹事長を選出できず、笠井副会長が引き続き幹事長を兼務してきました。今回、副幹事長の栗山正雄さんが幹事長就任を内諾され、執行部は総会に候補者として諮ることにしました。栗山さんは東京大学卒業後、NTT、NECに勤務し、通信ネットワークの分野で活躍。研修部長、電話局長なども経験しています。

幹事長就任について「生まれたのは終戦直後。戦前・戦中派の諸先輩と、戦後派の若手とを結ぶ良き懸け橋になりたい」と語っています。

【日時】6月27日(土曜日)
13:15 受付開始
14:00 ~ 17:00
総会・演奏会・懇親会
【会場】如水会館
千代田区一ツ橋 2-1-1
電話 03-3261-1101
【会費】8,000円 (学生無料)
地下鉄 神保町駅 下車徒歩3分
(三田線・新宿線・半蔵門線)
地下鉄 竹橋駅 下車徒歩4分
(東西線)



2008年度会務報告案

(08年4月1日～09年3月31日)

▼第47回総会・懇親会 08年6月28日(土)、如水会館に出席者190人集う。

白井透会長の新体制が承認される。第2部記念講演では柳沢勝輔さん(53期)の「私のエベレスト」、第3部では箱山リサさんが出演。

▼会報77号 08年5月下旬に総会直前号として発行。計画では年間1回の発行予定だったが、年末に簡易版の会報を2000部発行。新年会案内の会報として、年会費などの振り込み用紙を同封して配布。

▼財政 年2回の会報発行・郵便振込用紙の送付で単年度黒字を確保。

▼新年会 09年1月22日に開催し、85人が参加。堀内泰さん(60期)の講演「上田藩の世直し騒動」を聴く。

▼情報公開 ホームページやメールを活用し、母校の先生、他支部を含む会員同士の情報交換を促進。

▼母校との関係 社会講座へ講師派遣。母校の入学式、卒業式に出席。

▼ゴルフコンペ 4月、11月に2回開催、計55人が参加。

▼上田本部、関西、中南信、長野の各総会に参加 県高校同窓連関係では総会・新年会、東信地区イベントにも参加。

2008年(平成20年)度決算報告案 (2008年4月1日～2009年3月31日)

収入の部			
科目	予算	決算	差額
前期繰越金	757,988	757,988	0
大会費収入	1,600,000	1,368,000	-232,000
会報広告料	250,000	250,000	0
年会費収入	1,800,000	2,092,000	292,000
会議費収入	250,000	566,000	316,000
寄付金収入	600,000	316,361	-283,639
雑収入	200,000	218,000	18,000
受取利息収入	0	648	648
(小計)	4,700,000	4,811,009	111,009
運営基金利息繰入	0	0	0
合計	5,457,988	5,568,997	111,009

支出の部			
科目	予算	決算	差額
大会費	1,400,000	1,226,244	-173,756
会報費	1,050,000	1,391,405	341,405
交通費	200,000	126,280	-73,720
通信費	120,000	78,068	-41,932
会議費	400,000	635,289	235,289
渉外費	150,000	240,584	90,584
印刷費	20,000	135,154	115,154
事務費	720,000	730,289	10,289
雑費	50,000	60,185	10,185
(小計)	4,110,000	4,623,498	513,498
次期繰越金	1,347,988	945,499	-402,489
合計	5,457,988	5,568,997	111,009

(単位:円)

2009年度会務計画案

(09年4月1日～10年3月31日)

▶第48回総会・懇親会 2009年6月27日(土)に如水会館で開催。実行委員最年長の62期が中心になってイベントを企画。

▶会報78号は09年5月下旬に総会直前号として発行。年末年始には簡易版会報を08年度と同様に発行。

▶ホームページを活用し、幹事会、ゴルフコンペなど各イベントの結果を公開。メールを使って、会員同士、母校・本部・他支部の会員と情報交換を促進。

▶母校社会講座へ講師派遣。母校PTAとの交流。母校の入学式、卒業式への出席。ゴルフコンペは4月、11月に開催予定。

▶上田本部、関西などの各総会に参加。県高校同窓連関係の総会・新年会に参加。

▶09年1月22日開催の新年会会場および出欠はがきで収集したアンケート結果を参考にして「同窓会活動の活性化」や「同好会の設立」、「班・クラブOB活動情報の公開」について検討。

2009年(平成21年)度予算案 (2009年4月1日～2010年3月31日)

収入の部			
科目	21年度予算	20年度決算	増減
前期繰越金	945,499	757,988	187,511
大会費収入	1,440,000	1,368,000	72,000
会報広告料	500,000	250,000	250,000
年会費収入	2,000,000	2,092,000	-92,000
会議費収入	600,000	566,000	34,000
寄付金収入	500,000	316,361	183,639
雑収入	200,000	218,000	-18,000
受取利息収入	0	648	-648
(小計)	5,240,000	4,811,009	428,991
運営基金利息繰入	0	0	0
合計	6,185,499	5,568,997	616,502

支出の部			
科目	21年度予算	20年度決算	増減
大会費	1,260,000	1,226,244	33,756
会報費	1,400,000	1,391,405	8,595
交通費	200,000	126,280	73,720
通信費	120,000	78,068	41,932
会議費	700,000	635,289	64,711
渉外費	200,000	240,584	-40,584
印刷費	150,000	135,154	14,846
事務費	720,000	730,289	-10,289
雑費	60,000	60,185	-185
(小計)	4,810,000	4,623,498	186,502
次期繰越金	1,375,499	945,499	430,000
合計	6,185,499	5,568,997	616,502

(単位:円)

運営基金特別勘定 (2009.3.31現在)

科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	10,040,000	110,000	10,150,000
同利息	2,482,426	4,992	2,487,418
利息一般会計繰入	-1,700,000	0	-1,700,000
合計	10,822,426	114,992	10,937,418

(単位:円)

普通預金:三井住友
郵便振替:新宿花園郵便局
定額貯金:新宿花園郵便局
定期預金:三井住友

一般会計・特別会計総括表 (2009.3.31現在)

科目	金額	科目	金額
現金	1,187,211	次期繰越金	945,499
普通預金	735,307		
郵便振替	934,716		
特別会計から一時流用	-1,911,735		
<運営基金用>			
定額貯金	5,215,184	運営基金	10,937,418
定期預金	3,804,906		
普通預金	5,593		
一般会計へ一時流用	1,911,735		
合計	11,882,917	合計	11,882,917

(単位:円)



第48回総会をみんなで盛り上げましょう！

第1部 総会 14:00 - 14:30

2008年度会務報告、決算報告、監査報告、09年度会務計画案、予算案、他

第2部 懇親会 14:40 - 17:00

バンド演奏

(宇崎竜童&明治大学OBジャミング・ホットセブン、ゲスト：大隅寿男)

懇親、会食(立食ビュッフェ形式)、校歌・凱歌斉唱、他

▶会場の設営や受付、総会の議事進行などは当番期実行委員の皆さんが協力して行っています。今年の当番期(62、67、72、77、82期)の方は午前11時ごろまでに会場にお越しください。

昨年の講演会・懇親会風景



拡大新年会に85人参加

堀内泰氏(60期)が講演「上田藩世直し騒動」

関東同窓会の新年会が1月22日、千代田区一ツ橋の日本教育会館で開かれた。例年、拡大幹事会とあわせてそのメンバーによる新年会を行ってきたが、今後はより多くの参加者による新年会を開催し、会員相互の交流機会を増やすことにした。年末の簡易版会報で呼び掛けたところ85人と多くの参加があり、和気あいあいの楽しいひとときをすごした。

今回は堀内泰氏が「明治2年の上田藩の世直し騒動」について、次のように講演した。

8月16日(旧暦)の夜半、浦野組入奈良本村に端を発した騒動は17、18、19日と次第に勢いを増し、数千規模になった。上田藩に強訴するとともに、町方・村方を荒らし回り、町方の豪商・富商宅、村方の割番・庄屋宅などを打ち壊し、火をかけるなど空前の大騒動へと発展した。

騒動後、上田藩知事は農民の要求に沿って様々な改革を実施した。被害者への見舞金・材木料の支給、農具代の貸し渡しなどの救済と同時に、首謀者を検挙し処刑・処罰したほか、村々に罰金を科した。最大の改革は、世襲であった庄屋などの村役人を選挙で決めるようになったことだ。



講演する堀内泰氏

先祖に当事者がいる人も少なくない郷土の歴史にかかわる内容だけに、参加者は興味津々、懇親会の話題も盛り上がった。前副会長の倉島彰さん(54期)は「講演資料の中に放火された家の例として小生の曾祖父の名前が2番目に出ており、子供のころから知っていたことながら、感慨ひとしおでした」との感想を寄せている。



堀内氏の講演に聴き入る出席者



懇親会の風景



第48回総会実行委員当番期の62期が決意表明



上田高校 NOW

難関国立大に26人(既卒者含む)

進路	現役	既卒	計	
国立大学	119	45	164	
公立大学	22	7	29	
国公立大学計	141	52	193	
私立大学	165	205	370	
公立短期大学	4	0	4	5
私立短期大学	1	0	1	
文科省所管外の大学校	0	3*	3	8
専門学校など	4	1	5	
留学など	0	0	0	0
就職	0	0	0	

* 防衛医科大学校

の清掃やあいさつなど生活面の指導も大切にし、生徒たちはその期待に十分応えていることがあげられます。文武両道・自学自習の伝統を継承し、班活動や生徒会活動などで培った「いざ百難に試みむ」という精神は、入試にも発揮されているといえます。国公立大学の前期試験が終わった後も、また3月の卒業式の翌日からも多くの生徒が学校の学習室で真剣に取り組む姿があり、「最後まであきらめない」という姿勢が成果を生み出しています。

09年入試の特徴の一つは、国公立大学志向が強まっていることです。昨年からの経済不況の影響もあってか、私立大学専願者数、私大併願校数が減少し、私立大合格者数も減少に転じました。今後の動向に注目し

郷土班に最優秀賞

県人文社会科学コンクール

明治初期に上田訪問の英外交官報告書を翻訳

この研究は、昨年度の長野県高等学校文化連盟「人文・社会科学コンクール」で最優秀賞となり、旺文社「全国学芸科学コンクール」でも入選(旺文社赤尾好夫記念賞受賞)しました。

また3月には、倉澤PTA会長のお薦めで、上田市海野町のギャラリーUD(ジュエリーサロン・ヤジマ2階)で一般市民を対象に研究発表を行いました。この様子については、既に関東同窓会ホームページに信濃毎日新聞3月15日付の記事が紹介されていますので、ご覧になった方も多いかと思えます。この発表を通じ、市民の皆さんが蚕糸業にとっても関心が深いことを実感しました。さすがに「蚕都上田」です。

この史料は有名で、部分的に翻訳引用されることは多かったのですが、全文翻訳はまだありません。19世紀の英語が古風で難しいのに加え、専門用語が多く、翻訳には非常に苦労しましたが、郷土班員は根気よく地道な翻訳を続け、今年で3年目に入り、ようやく全体像が見えてきたところです。報告書の内容は興味深く、何より外国人から見た上田の印象が、甚だ好意的であることに驚きます。

翻訳に併せて、上田蚕糸株式会社・上田市立博物館・清水金左衛門旧宅・岡谷市立蚕糸博物館・宮坂製糸場(岡谷市)・富岡製糸場・横浜開港資料館などへの見学・調査を行いました。この実地調査でも蚕種や生糸について、多くのことを学びました。今年度は付属文書と報告書追伸部分を翻訳する予定です。また合宿所建設にもなう上田高校校内遺跡発掘調査にも参加することになっています。

郷土班顧問 柁津宗伸

郷土班は、1869年に上田を訪れたイギリス外交官F・Oアダムズがイギリス外務省に送付した報告書を翻訳し、当時の上田周辺の蚕糸業について研究しています。

この研究は、昨年度の長野県高等学校文化連盟「人文・社会科学コンクール」で最優秀賞となり、旺文社「全国学芸科学コンクール」でも入選(旺文社赤尾好夫記念賞受賞)しました。

また3月には、倉澤PTA会長のお薦めで、上田市海野町のギャラリーUD(ジュエリーサロン・ヤジマ2階)で一般市民を対象に研究発表を行いました。この様子については、既に関東同窓会ホームページに信濃毎日新聞3月15日付の記事が紹介されていますので、ご覧になった方も多いかと思えます。この発表を通じ、市民の皆さんが蚕糸業にとっても関心が深いことを実感しました。さすがに「蚕都上田」です。

この史料は有名で、部分的に翻訳引用されることは多かったのですが、全文翻訳はまだありません。19世紀の英語が古風で難しいのに加え、専門用語が多く、翻訳には非常に苦労しましたが、郷土班員は根気よく地道な翻訳を続け、今年で3年目に入り、ようやく全体像が見えてきたところです。報告書の内容は興味深く、何より外国人から見た上田の印象が、甚だ好意的であることに驚きます。

翻訳に併せて、上田蚕糸株式会社・上田市立博物館・清水金左衛門旧宅・岡谷市立蚕糸博物館・宮坂製糸場(岡谷市)・富岡製糸場・横浜開港資料館などへの見学・調査を行いました。この実地調査でも蚕種や生糸について、多くのことを学びました。今年度は付属文書と報告書追伸部分を翻訳する予定です。また合宿所建設にもなう上田高校校内遺跡発掘調査にも参加することになっています。

郷土班顧問 柁津宗伸

ています。

進路指導は合格者数という数字を出すことを目的にしているわけではありませんが、生徒一人一人の進路実現に向けて、日々物心両面において多大なご支援をいただき、教育実践を積み重ねてきた結果が現れるという意味で、教職員一同、心を新たにしくお願い申し上げます。

同窓会の皆様には「社会講座」、「卒業生による進路講演会」などの行事をはじめ、物心両面において多大なご支援をいただき、お礼申し上げます。今後ともよろしくお祈り申し上げます。

て取り組んでまいりたいと思います。

アクト法律事務所

〒107-0052
 東京都港区赤坂3丁目9番18号
 ラウンドクロス赤坂見附3階
 TEL: 03-5570-5671 (代表)
 FAX: 03-5570-5674
 【最寄りの交通機関】
 地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士 (所長) 岩井重一 (62期)
 弁護士 安田隆彦
 弁護士 平澤慎一
 弁護士 小林真
 弁護士 寺島英輔



新入生327人が入学

1学年主任 竹内正典

上田高校 NOW

4月4日に入学式が行われ、327人の新1年生が誕生しました。今年の新入生は男子168人、女子159人で、男女ほぼ同数になりました。

早速行われた学年集会では、本郷教頭から上田高校生としての心構え、落合進路指導主任から卒業生の進路結果と進路の考え方、塩入生徒指導主任からは高校生活全般についての話がありました。

続いて各教科担当から、高校での学習方法について具体的な話があり、短時間でしたが熱のこもった先生方の話を、生徒たちが真剣に受けとめる密度の濃い集会となりました。

担任8人は、新入生を迎えるに当たり、高校生としてどうあってほしいかを考えました。それを古代ギリ

シャ風に、「論理的に考える能力(Logos)」、「健全な生活習慣(Ethos)」、「情熱(Pathos)」が人を突き動かす」の3つにまとめ、具体的には「電源を切って本を開き、そして考えよう」「当たり前のことを当たり前にしよう」「本気になれば、世界が変わる」という言葉で表現し、メッセージとして贈りました。

生徒会主催の対面式・班紹介・応援練習などを通して、先輩の厳しい指導と温かな励ましの言葉を受け、少しずつ上田高校生としての自覚が生まれてきているように思います。

緊張の中での高校生活のスタートでしたが、クラスでの和やかな自己紹介の会や上田城跡公園での団子をほお張った花見会などを通して、クラスの中にも次第に話し声や笑いが聞こえるようになりました。

本格的な65分5時限の授業がスタートして3週間、

全クラスが上田城で花見

2学年主任 滝澤文浩



上田ケーブルビジョン提供

「全て吸収するぞ」という意気込みの目の輝きは続いています。今の気持ちを忘れず、一人一人が充実した高校生活を送ってほしいと願っています。

今年桜を見たい、上田城の花見に行きたい、という願いがかなって、4月9日のLHR(長時間ホームルーム)時に全クラスが上田城に出かけました。昨年雨に泣かされたので、今年に行きたいという希望は、生徒はもとより担任の方が強かったかもしれません。寒の戻りがあったりして多少早かったかもしませんが、櫓門前のしだれ桜は満開。天気が良く、生徒たちの団子をほお張る笑顔にほっとしたところでした。さて、2年生になり、講

授業がひとつもなくてさみしい、とこぼす女子生徒もいたりします。同じ進路希望を持つ仲間と切磋琢磨(せつさたくま)したり、クラスを越えた交流を通して一段階上の仲間づくりをしてほしいと願っているところです。陸上の三段跳び競技では、ホップをやや小さ目にしてステップを伸ばすと記録が伸びるとよく言われるようです。それには違う足を踏み出していく時の腕の振りが必要なポイントになるようですが、ポーンポーンのまん中のポが縮んでしまわないように、元氣よく腕を振って、トライしていきたいものです。自分の今の課題は何なのか、何を目指して力を振り絞ったらいいか、常に意識しながら、この一番高校生らしい時を真に謳歌(おうか)してくれることを望んでいます。

全HR教室にエアコン

県内初、同窓会が寄付

本校は市内の中心部に位置しているため、周囲の建物の冷房から出る熱などにより、近年夏場の教室内は異常に暑い状況が続いていました。そのような現状をご理解いただき、創立110周年記念事業の一環として同窓会のご寄付により全ホームルーム(HR)教室に冷房装置を設置していただくことになりました。

現在、設置工事はすべて終了し、4月27日に日置理事長・関学校長立ち会いのもと、校長室で引き渡し式が行われ、その後、業者による試運転が行われました。

全日制教頭 本郷幸博



沖縄へ修学旅行

戦争知り、平和学習に生かす

3学年主任 高沢茂喜

修学旅行は10月13日から16日の3泊4日。初日、上田からは8クラスが3本の新幹線に分乗して東京へ。羽田からは8クラスが同じジャンボジェットで沖縄へ出発の予定。ところが、無事全員が機内に着席していきざ出発、そしてお弁当の準備が、離陸後にあるはずの「機長の挨拶」がなぜか離陸前に始まりました。

最終日の4日目はクラス別で行動し、沖縄を後にしました。初日の飛行機トラブル以外は順調に日程をこなして無事帰着のほうでしたが、帰りの飛行機も20分遅れとなり、チーフCAの方が「往復ともご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした」とあいさつに來られ、生徒各自にジュース1本というお土産が付きました。少しだけ話題が増えた修学旅行でしたが、5月の松代象山地下壕見学から始めた平和学習は、その成果をグループでプレゼンテーションをしたり、学年集会で発表したりと学習を積み重ね、アジア・太平洋戦争で多くの犠牲者を出した激戦地、沖縄を訪れることによって戦争の悲惨さ、命の尊さを実感でき、平和の大切さを強く意識させることができました。

2日目は、最初に平和祈念公園で「ひめゆり学徒隊」の数少ない生き残りの一人、宮城喜久子先生の講演を聴き、戦没者の方々の冥福を祈るため、千羽鶴を捧げ全員で黙とうしました。その後「糸数塚」「ひめゆり平和祈念資料館」を訪ねました。

すでに3年生となった生徒たちは、インターハイ、松尾祭などを目指して班活動、生徒会活動に力を注ぎ、來るべき受験に向け「試百難」の道を突き進みます。



3日目は「マリンスポーツ」「イルカ体験」「海人体験」などのコース別体験後、「沖縄美ら海水族館」で巨大

「沖繩美ら海水族館」で巨大

弓道班、全国選抜大会に出場

弓道班顧問 小林博正

現在、弓道班は2年生(男子12人、女子6人)と3年生(男子13人、女子3人)の34人で、全国大会出場(インターハイ、選抜大会)を目標に活動しています。

全国選抜大会出場権獲得の流れは、東信新人戦(男女各上位12チームが県大会出場)↓県新人戦(男女各上位約20チームが選抜大会出場)↓選抜大会県予選(男女各優勝チームが全国大会出場)となっています。

県選抜大会は前年度、上田東高校が優勝しています。現3年生男子はこのとき大会補助員として大会運営にかかわって上田東の優勝を見ており、全国大会に出たいという思いを強くしたようです。従来から射形を重視していますが、加えて3人四ツ矢で12射9中以上の中するという目標を掲げて練習してきました。

昨年12月6日に全国選抜大会への出場が決まり、ことし3月21、22日に静岡県で開かれた大会までの間は、私が3年生担任ということもあり十分指導ができませんでした。前回の様子を上田東の顧問の先生から聞き、アドバイスを受けて、限られた時間の中で対策を立てて臨みました。



21日の予選は予定時刻より遅れて、男子団体が始まりました。選手3人の後ろで監督として試合を見守りましたが、選手は緊張しており、矢を持つ手の震えが矢羽が動くことで分かりました。結果は残念ながら予選敗退となりましたが、気持ちを切り替え、5月16-17日の東信大会に向け日々練習に励んでいるところです。

男子団体はインターハイの県予選で優勝できる力をつけつつあります。女子は人数が少なく1チームしか組めませんが、県大会に出場できるのを出しています。全国大会出場で弓道班に「Yes, we can. We can believe in.」と自信が出てきたのが大きな収穫でした。

新監督に西澤俊一氏

野球班待望のOB監督誕生

上田高校野球班はこの4月から、西澤俊一先生(82期)を新監督に迎えました。長年の願望であった初めてのOB監督です。筑波大学で強打の右翼手として87年の首都大学リーグで初優勝。明治神宮野球大会でも初優勝(秋の大学日本一)し、台湾遠征の日本代表に選ばれて大活躍するなど華麗な経歴の持主です。

卒業後は野球部の部長、監督を県下3校で計19年。昨春来、母校野球班顧問を勤め、晴れて監督と

なられました。「晴れて」と記したのは、監督として「母校を甲子園に出場させたい」が彼の念願だったからです。母校は57年に甲子園初出場、30年後の87年に2回目の出場を果たしましたが、2回目の年は奇しくも、そんな強い願望を抱く彼が大学野球日本一の一員となった時でもあります。

前任の松本深志高校では、当時の校長、藤本光世先生から貴重な薫陶を受けられた由。藤本先生の信念とする「教育は環境整美」の一環、トイレ掃除での「清掃主任」は西澤先生だったそうです。藤本先生の上田高校転任時には、2人で深志高校のトイレを全部ピカピカにされたとも。

この話には「続き」があります。去る5月2日の春季北信越高校野球大会予選、宿敵丸子修学館戦に勝利して母校監督としてデビュー戦を飾った日のこと。朝、先生は

体育館前とグラウンドのトイレがきれいに磨かれているのに気付きます。試合後、3年生レギュラーが清掃して試合に臨んだと聞いて、今日の勝利はその「ご褒美」だとして選手を褒めたそうです。その指導姿勢は藤本―西澤師弟コンビによる「ヤル気＝自主性」を引き出す(Educate)教育の具現と思われまふ。

今春の選抜甲子園大会は、ご存知の通り長崎県立清峰高校が優勝しました。同校は06年に選抜初出場し、いきなり決勝まで進出したものの、横浜高校に0対21と一蹴されました。準優勝ながら「悔しさ」と「惨めさ」は拭えなかったという吉田監督は、この記録的大敗を今回見事に雪辱しました。彼はたった3年の間にこれだけのことを成し遂げています。

聞けば、毎日の練習は2時間前後、県外からの多数の入学志望者を一切断り、県内、それも地元生徒優先のチームでの快挙とか。同じ県立の上田高校にもできないはずはないと思われ、大いに参考になり、励みにもなります。

西澤監督には、伝統の「文武両道と試百難」「One for all, All for one」という精神と、大学で学ばれた人間工学に基づく科学的合理野球を融合一体化し、母校同窓生の待望久しい「3度目の甲子園」

の早期実現を期待します。

現在の野球班は59人の大所帯。

顧問が安藤慎一先生(78期・弓道

班)、部長は加藤尚也先生(78期

・野球班)。コーチにはボランティ

アで過去三十数年間、日々ノック

を振るう相沢敏夫さん(59期・野

球班)という布陣。前部長、監督

として、7年間にわたりご指導、

ご尽力いただいた内田清隆先生

は、この4月から上田東高に異動

されました。

上田球友会会長

成田邦夫(56期)

ゴルフコンペ

関東同窓会唯一の同好会活動であるゴルフコンペが、昨秋と今春の2回開催された。第11回コンペは08年11月19日、取手国際ゴルフクラブで開催。27人の参加のなか、常連の実力者、倉見英一さん(55期)がネット65(7アンダー)という快スコアで優勝した。当日はコースコンディションが良かったこともあり、3位まではアンダーパーというハイレベルな戦いとなった。

第12回大会(写真)は09年4月2日、千葉カントリークラブ川間コースを舞台にして、過去最多の38人が参加し、熱い戦いが繰り広げられた。優勝は、ハンディにも恵まれた小林宏行さん(59期)がネット74・4で獲得する。今回初めて期別対抗戦も行われ、5人以上参加の4期(チーム)によって争われたが、初出場の多い63期の圧勝となった。

上は48期から下は69期まで、世代を超えた交流はゴルフならではの。02年にスタートしたゴルフコンペも、これまでに80人ほどの人が参加しており、今後ますますの盛り上がり期待される。

次回は10月下旬ごろに開催予定。初めての人も歓迎です。

ゴルフ同好会幹事 上原昇(65期)



ノックする西澤新監督と「試百難」の横断幕 (写真提供 藤本光世前校長)



創部60周年記念総会

ハンドボール班OB63人が参加

1948年創部のハンドボール班は昨年60周年を迎え、11月に飯田橋のホテルで記念総会を開催、現役大学生16人を含むOB63人(48〜106期)が参集。同じ釜の飯を食ったもの同士がひたすらボールを追い、つないでゴールを狙った青春の日々の話に花を咲かせた。あのシュートが入っていたら、ラインクロスがなかったら、反則を取られなかったら、だまされて入部した、だまして入部させた…。各人各様であるが、最終的には皆HBの魅力に取り付かれた面々である。

51年のインターハイ(IH)初出場を皮切りに、52年に国体初出場(信越5県大会優勝が出場条件)、54、57年とIHベスト8、58年国体で4位になるなど、上田ハンドは全国区になった。64年には実績が買われ第15回IHが上田で開催された。開催地の気負いか、前評判通りの実力を発揮できず16位に終わったが、松代地震真っただ中の会期中を通して、泊り込みのグラウンド警備、整備、ラインズマンなど、上田OBが総力で

51年のインターハイ(IH)初出場を皮切りに、52年に国体初出場(信越5県大会優勝が出場条件)、54、57年とIHベスト8、58年国体で4位になるなど、上田ハンドは全国区になった。64年には実績が買われ第15回IHが上田で開催された。開催地の気負いか、前評判通りの実力を発揮できず16位に終わったが、松代地震真っただ中の会期中を通して、泊り込みのグラウンド警備、整備、ラインズマンなど、上田OBが総力で

フォローアップした。そして、中島恒夫先生(61〜79年、体育)率いる上田ハンド全盛時代へ。

来賓ご出席の先生の弁。「監督としての18年間に全国のひのき舞台へ13回駒を進め、うち全国ベスト8が5回(他、複数回の北信越大会優勝、国体4位など)の戦績。されど、懸案のベスト8の壁が越えられなかったのが心残り」。先生は身長160cm足らずだが、真つ黒に日焼けした全身はバネ。どでかい声で部員を鼓舞してくれる熱血漢であった。先生赴任時の部員はわずか4人。監督就任のお願いに伺った職員室で「現在部員は何人?」。しばし沈黙後の返答に眉をしかめ、困惑した先生の様相がいまだに忘れられない。

レー指導のおかげと誇らしい話がつきない。先生の転動後は、85年のIH出場を最後に陰りが現れ、以後95年にIH出場を果たしただけである。現在、母校のHB班は男女合わせて50人強。05年創設の女子部が今年の長野県総合選手権大会(参加33チーム)に優勝。夏のIH出場も十分射程に。

「現役の全国大会出場はうれしかったが、顧問とOBによる奉加帳行脚では、HBとは何かを知ってもらうことも必要だったなあ」と、その大変さも懐かしい思い出として、先輩諸氏から異口同音に聞かれた総会でもあった。久方ぶりにこんな話題で盛り上がる日は近いかもと、大いに期待が膨らむ。

試合後の夜は4校そろっての宴会となり、校歌と凱歌を高らかに歌い、楽しい1日を過ごしました。今回で各校の優勝回数は、本校が15回でトップになり、長野高校の14回を抜きました。

県4校対抗戦で5連覇

バスケットボール班OB会

昨年10月12日、東京有明のBumにおいて、長野県4高校(長野、松本深志、諏訪清陵、本校)OBバスケットボール対抗戦が行

われしました。79年からほぼ毎年1回開催し、昨年で31回を迎えた今大会で、本校は大差の3戦全勝で見事に優勝を飾るとともに、5連覇の偉業も併せて達成しました。

本大会初期のころは、参加者とその家族も合わせると100人以上も集まり、大会前に練習を行って臨んだほど、熱がこもっていました。5回ごとに記念大会として、地元で現役対抗戦を加えて開催しており、第15回(92年)大会は、当時新装となった上田高体育館にて開催し、本校だけでも50人近く参加いただきました。当時ア



当日は、班OB会長の関田了先輩(69期)が上田から応援に駆けつけてくれました。参加者は10人弱。平均年齢は優に40歳を越えていましたが、動きは他校には負けていませんでした。頭で描いたイメージと実際の動きのギャップが大きいのは事実ですが、それでも3点シュートだって、まだまだ決まりますよ! 近年4校共通して参加者の減少とプレーヤーの高齢化が進

関博明(72期)

歌い継がれる柔道班歌

「柔和会」79年の歴史誇る

上田中学校・上田松尾高等学校・上田高等学校で柔道が始められたのは1905年（明治38年）6月に初代師範、木下一助先生が

要請に応え多数の俊才を輩出して国家社会に貢献していることは周知の事実である。

着任された時からという。以来、多くの生徒が精進と鍛錬を重ね、1930年には柔道を修めた者が主力となって「柔和会」が発足した。当時の師範で、母校の大先輩でもあった依田誠先生が初代会長に就かれ、79年という歴史を誇って今日に至っている。

31年には日本伝道館柔道の創始者嘉納治五郎先生のご来臨を仰ぎ、柔道の精神についての講話を賜るとともに、「柔和会 帰一斉」と直筆大書されたわが国にたつた一つしかない自慢の会旗をいただいている。この旗のもとで会員のきずなは強く結ばれ、輝かしい伝統が和やかに引き継がれていくのは誠に喜ばしい限りである。

上田高校柔道班班歌

- 一、東浅間の山遠く一風秋をもたらして
真田が丘の丘の上に紅葉燦と輝けば
紅の血は高なりて八百の胸たぎりゆく
- 二、清き歴史は積もり越し齡はずに二十五の
過ぎ来し関を見返れば柔の教の跡遠く
童攘の音鳴りひびき虎博の音は絶えざるを
- 三、信山の秋更けゆけば松尾城下の関の声
壮士白衣の肌寒く城頭松に声ありて
鉄腕を撫す益良男が首途の曲ぞ胸に沁む
- 四、狂風地を捲き襲い来てここに乱る晴れ戦
雷鼓とどろき風はなり断雲乱れとぶ所
上中の旗高くして敵影すでに後になし
- 五、穹窿高く雲晴れて蒼鷹一羽空に舞う
二十余年の覇図の跡一筋しろく輝きて
身に負う務思ふ時夕日の色は燃ゆる哉

礼に始まり礼に

終わるといふ日本の武道「柔道」をともに学んだわれわれが少年の日から今に至るまで懐かしくも歌い続けている柔道班（部）歌をここに載せ、多くの仲間たちをしのび、思いをほせてみたい。

柔和会5代会長
柳澤廣（44・5期）

剣道班OB会16年の歩み

「上田高校剣道班OB会」は93年、上中・松尾・上田3代の剣道班出身者をもって故大石治先生（41期）を会長に迎えて設立されました。60年の全国大会出場を機に、OBを中心に剣道班への後援活動を続けてきました。この後援会を発展的に改組し、従来からの後援活動にOB相互の親睦を深めることも目的に加えて、この会が設立されました。現在の剣道班OB会は現役生への支援活動をはじめ、年1回の総会・親睦会、現役生同士の大会およびOB会員との合同稽古、会報の発行などを行っています。

OB会の16年の歩みの中から特筆すべきことを紹介します。97年には、戦後初代顧問の故横谷和光先生の奥様からのご芳志により、半田孝淳氏（34期、現天台宗座主）の筆によるOB会旗「剣友」を作製することができました。03年には、故宮下力先輩（38期）の奥様からのご芳志により、優勝杯を購入して現役生同士による「宮下杯争奪勝ち抜き戦」の名称で第1回大会を開催しました。

「理系クラブのOB会」開催

剣道班OB会 阿部祐之（56期）

従来、化学班単独のOB会として開催していた親睦会を、今回から「理系クラブのOB会」に発展させて昨年の8月24日「塩梅（あんばい）銀座店」で開催した。化学班OB会から通算すると第4回目である。

参加者は清水周恩師（47期 化学）、物理班からは丸山瑛一（51）、濱村邦夫（56）、化学班からは大塚教夫（53）、児玉三明（56）、大塚訓喜（57）、矢嶋瑞夫（58）、高橋福幸（58）、萩原清人（59）、木下嶺夫（59）、生物班からは堀内忠久（53）の各氏で計11人。最初に故大野和男前会長（56期）に黙とうをささげた後、大塚現会長に「還暦を迎えた半導体」の小講演を行っていただいた。この講演の話題から懇親に入り気あいあいな異業種交流会となった。参加者の中には博士（医学・理学・工学・農学）が5人もいたので高度な話題も出て、さすがに上田高校理系系OB会であると感じた。

と写真班の参加者がいなかったが、次回からぜひ参加願いたい。これらの班に少しでも在籍した人は幹事長（高橋福幸）まで連絡願います。今年の開催案内をお送りします。今年は地学・天文班OBの方の参加も予定されています。普通では絶対に会えない高名な先輩たちと気楽に懇談でき、現役会社員や学生の皆さんも大変ためになります。

連絡先：高橋福幸（58期）
yoshiyuki-taka@mte.biglobe.ne.jp
電話・FAX 046-285-1086

今回は残念ながら地学・天文班



中山道69次を歩く

64期
女性



昨年、還暦を迎えた64期の女性たちが第2の人生を過ごすにあたり、気軽に交流できるよう、メーリングリストを作りしました。交流第1番目の企画として、中山道を歩いてみることにしました。

お江戸日本橋を出発して、京都三条大橋までの533^キを昔の旅人は約15日で歩いたといわれています。逆算すると、1日約35^キ。私たちの旅はもう少しゆっくり、電車なども利用して、中山道の名所旧跡や69宿を訪ねるものです。

第1回は4月25日、雨の中を日本橋・道路元標に集合し、旅が始まりました。三越百貨店(越後屋)前から、日本橋室町を通り、神田へ。神田明神にお参りする予定が、

合格祈願のメッカ・湯島天神に旅の無事をお願いし、本郷通りを歩いて東大の赤門(加賀藩邸表門)へ。さらに白山通りを通り、おぼあちゃんの原宿として賑わう巣鴨へ。ここでとげぬき地蔵に水をかけて、頭、胸、腰、ひざをふき清めて無病息災をお願いしました。

「旧中山道」の標識を頼りに、ひたすら歩いて「これより板橋宿」の看板を発見。板橋宿は、中山道第1番目の宿場。今でも宿場の面影が残るだけでなく、商店街としてもにぎわっていて驚きました。宿の中央を流れる石神井川には名の由来である板の橋が復元して架けられ、たもには「日本橋から十軒六百四十二米・距日本橋二里二十五町三十三間」の標識が立てられています。

中山道はこの先の荒川を舟で渡りますが、私たちは電車で通過し、第1回の旅はここで終わりにしました。

第2回は6月7日、蔵宿から始まります。64期の女性が歩くペースに合わせてくれる方なら、どんなでも参加は可能です。希望の方は、「中山道の旅希望」としてメールアドレスを登録してください。

清水 yaeharak@com.home.ne.jp

54期が上田城公園で花見会

五四期会は4月19日、上田城跡公園で恒例の花見会を行った。花見会は07年以來3回目だが、名古屋や静岡、関東から集まった仲間たちは「やあ、久しぶりだな」「太ったなあ」と言いながら笑顔で握手するなど、雰囲気は良好。温暖化の影響で桜の開花が早く、満開時を3、4日過ぎていたが、快晴にも恵まれた。花見は盛会裏に終始した。

山口正義幹事長が適



切なりードで、でこぼこの砂利の地面に段ボールやシートを敷いてくれた。座布団まで用意してあったので、女性陣には好評だった。

06年10月に「エクシブ軽井沢」で、高校卒業50周年記念総会を開催し、女性8人を含む90人が参加した。このとき、「上田で花見会をやる」という話がまとまり、翌年には上田城跡公園で第1回の花見会を開催した。この時、小山盛夫会長をはじめ、植樹実行委員長の岡崎光雄氏が中心となって、シダレザクラ1本とソメイヨシノ2本を公園内に植樹した。幹事の春日勇治郎、柄沢衛、小林連司各氏や関東役員の市河富弘、倉島彰両氏も植樹に協力したが、大変な苦労だったという。

花見の席には、おでん、やきとり、おやき、季節の山菜天ぷら、塩田産米のおにぎり、漬け物、焼きそば、ビール、酒、焼酎などが出され、満喫した。雲がない晴天でまぶしいくらいで、日焼けにも気を使った。

小山会長は植樹した場所を54期にかけて「五色ヶ丘」と命名した。生徒や地元の皆さんの憩いの場になってほしい。

有賀俊雄(54期)

65期同期会

来年、上田高校創立110周年記念事業が行われます。募金が予定されていますので関東の同期生諸兄におかれましても、よろしくお願いたします。

六五会：65期同期生有志よりなる親睦会です **ゲスト大歓迎**

六五会開催日とメンバー

青松秀和、上野政博、小山田秀士、小出俊、輿水章比古、小山寿一、島田甲子雄、中村幸男、永井寛、羽田義久、丸山幸雄、安川莊太郎、矢島好高、柳沢英明、吉田一雄、若林健

▶毎月：21日午後7時～
▶場所：上田市内の飲食店

布施修一郎
連絡先：0268-22-1443
090-1663-6363
ichirido@po3.ueda.ne.jp



株式会社 一秀

木目込み雛人形の専門メーカー

〒121-0815
東京都足立区島根 2-31-23
TEL 03-3859-3131
FAX 03-3885-2373
URL <http://www.issu-hina.com>

代表取締役

木村公平

(63期、ハンドボール班)



62期が全国同期会



業以来、45年ぶりに再会する同期生も多く、「なつかしいなあ」「白髪が増えたなあ。一瞬、誰だか分からなかったよ」などと会話がはずんだ。

依田欣五郎同期会実行委員長の開会宣言に続き、関東同期会の岩井重一代表幹事や来賓の白井透関東同期会長らがあいさつ。この後、参加者がクラスごとに壇上に上り、1人ずつ

62期の卒業45周年記念「全国同期会」が4月18日、東京駅近くの八重洲富士屋ホテルで開かれた。62期は03年以来、毎年同期会を開催しているが、全国同期会は04年以来5年ぶり2回目。今年は関東同窓会総会・懇親会の幹事当番期に当たるため、多数の参加を呼びかけ、前回の92人を上回る104人が参加した。

クラス会や班・クラブOB会なら、参加者の名前はすぐ分かる。だが、同期会となると、顔と名前が一致しない人も多い。声をかけられて「誰だっけ」と考え込む光景もあちこちで見られた。高校卒

短く近況報告した。

アトラクシオンには、ミュージシャン・俳優の宇崎竜童さんと明治大学OBバンド「ジャミング・ホットセブン」が出演し、昔懐かしいデキシードジャズを演奏した。宇崎さんは、この日司会を担当した中村真一君と明大軽音楽クラブ時代の友人で、快く出演に応じてくれた。

最後に全員で記念撮影した後、参加者がフロア一杯に人の輪をつくり校歌斉唱。「千秋玲瓏の空衝きて」。元気のいい大きな歌声がホテルの大広間にこだました。

真山隆夫（62期）

水上温泉で同級会

61期
7組

61期7組は数年前から2月ごろに都内の居酒屋などで同級会を開催し、毎年12〜13人が参加。今年は高校卒業後45年にあたるので温泉への1泊旅行が提案され、提案者の久保田君を幹事として3月13、14日に水上温泉での同級会となった。急な計画にもかかわらず9人が参加した。

初日は上野駅で待ち合わせ、途中駅での合流者を加え列車で水上温泉へ向かう。修学旅行以来の同級生との旅行ということもあり、また、卒業後初めて顔を合わせた者もあり、酒を酌み交わしながら昔話に花が咲いた車中だった。ホテルへは早めに着いたので夕食までの間、ゆつくりと温泉に入る。



夕食を兼ねた宴会、その後部屋に戻っての2次会と、後は寝るだけの気楽さもあり、皆大いに飲み、時には人生論なども交えて語り、楽しいひと時を共有できた。

翌日はあいにくのみぞれ模様の

天候で、昨日の飲み疲れもあり、時間までホテルでゆつくりと過ごし、近郊散策をやめて早めの列車で帰京した。帰路は軽く飲みながら談笑。

次回は上田などの在住者にも呼びかけて今秋にも地元温泉で開催することを決め、再会を約して解散した。

61期7組幹事 荻原隆治

ご存知ですか、運動部OB連合会

94年にソフトテニス班O人から40人が集います。2月Bの柳沢暢宏氏（47期）をはじめとして数人の方々が人が集い、校歌を斉唱した後、発起され、08年12月末をもって満14年を経過しました。が現在の情報交換、新たな出本年は水泳班が幹事で、市会いと、和気あいあいの中で川泉さん（69期）が会長に お酒をいただきます。就任しています。

この会は「上田高校の各から講師を出してもらい講演運動部OB会相互の親睦を会を開催します。本年は剣道回り、あわせて母校の運動部の強化充実を応援する」医科歯科大学内科教授兼副学ことを目的としており、連長を招き、「健やかに老いる合会への所属を問わず、そこには」という題で講演している。年大会に出場した団の酒量に影響が出るかと思ひ、個人に激励金を差し上げています。昨年はアーチェリー個人、本年は3月に弓道班団体、アーチェリー、スキーがそれぞれ個人で出間にお聞きいただき、皆様の場しました。

相互の親睦として春、秋にゴルフコンペを開催、30

08年度幹事長 工藤武和（67期、剣道班）



上海でクラス新年会

65期
2組

昨年末、「来年のクラス新年会は趣向を変え、上海でやろう」という話が出た。上海には小山雅堂君（2組、65期のホームページに「CHINA REPORT」を連載中）が在住で、彼は同地で健康食品の会社を経営している。

2月6日、関東地区のメンバー5人（小宮山豊、菊地章夫、林長人、上原昇、関賢治）が成田から上海へ飛び立った。



同地でまずは、小山君作成の「これぞ上海旅程表」にのっとり、昨秋新装したばかりの森ビルへ。展望台は高さ474^{メートル}で、床から天井まで総ガラスには足がすくむ。

この後、地下鉄を利用して夜の南京路散策へ。歩行者天国の銀座か新宿を歩いている感じ。当夜のクラス会会場は、世界各国のVIPが訪れるという南京西路にある「梅龍鎮酒家」で、

上海料理を満喫した。

2日目は小山君の「上海天新麗保健品有限公司」の工場見学へ。ちょうど中国は旧正月休みで従業員は帰郷中とあり、普段は入れない場所まで案内してもらった。特に昨年の冷凍餃子事件以降、品質管理については、隅々まで注意を払って製造しているとのことであった。

その後、一行は上海の観光名所である中国文化がしのばれる「預園」へ向かう。付近は元旦の浅草寺を思わせる人々で見物どころではなかった。夕方、小山君

がチャーターしてくれた舟で黄浦江遊覧へ。ライトアップされた近代的な浦東地区ビル群と旧イギリス租界地区オールド上海の建物との対比が絶妙の美しさであった。

2日目のクラス会会場は、こちらも老舗の「王宝和大酒店」。名物の小籠包をお代わりし、上海ガニにしゃぶりつき、52度の白酒に足をとられながらホテルに帰る。

最後の3日目は、龍陽路にある駅から、リニアモーターカーに乗

「信州の鎌倉」

を歩く 58期

がチャーターしてくれた舟で黄浦江遊覧へ。ライトアップされた近代的な浦東地区ビル群と旧イギリス租界地区オールド上海の建物との対比が絶妙の美しさであった。

来年卒業50年を迎える58期生はウォーキングでまだまだ元気いっぱい！

毎年4月の第3土曜日に58期生の総会・懇親会が上田で開催される。回を重ねて今年は第20回の日会となった。

夕方から始まる総会・懇親会前のイベントとして従来から懇親ゴルフコンペが行われており、数年前からはそれに加えて懇親囲碁競技会も開かれている。さらに昨年からは、新しいイベントとしてウォーキングが加わった。

ウォーキング初回の昨年は「真田氏ゆかりの名跡巡り」と銘打って真田氏ゆかりの山城をたどり歩いた。このコースは上田市の「歴



史ロマンウォーク」一番人気のコースだそう。歩行距離は約15^{キロ}のこと。

初回の参加者は10人。上田駅前集合し、真田自治センター（ゆきむら夢工房）までバスで行き、信綱寺↓尾引城↓根小屋城↓一杯清水↓枅形城↓本城↓砥石城↓山城↓祥園（懇親会場）というコースを5時間くらい掛けて歩いた。

コースの途中ではかなり険しい所があり、ロープにつかまって昇り降りするようなこともあったが、全員無事に終点まで歩き通した。

第2回の今年は「信州の鎌倉（塩田平）巡り」ウォーキングであった。今年のコースは比較的平坦な所を歩くので昨年より楽なウォーキングであるが、参加希望者は8人にとどまり、まとまって歩くのにはちょうどいい人数となった。

朝方空にあった雲も消え去り、雲ひとつない日本晴れの好天気となり、絶好のウォーキング日和になった。

別所線の電車で別所温泉駅に向かい、常楽寺・安楽寺・北向観音に詣でた後、塩田平へ向かう。満願寺↓中禅寺↓塩野神社↓塩田の館（昼食）↓前山寺↓無言館↓塩田町駅と歩き、別所線の電車の上田駅に戻った。

今回の歩行距離はというと、万歩計は優に2万歩を超えており、歩行距離は10^{キロ}を超えていた。

北村尚巳（58期）



終わりのない自分との闘い

ネパールで40余年、改革目指す

宮原 魏 (50期 青木村出身)

特別寄稿



▼自然に魅せられて

カトマンズ盆地は、上田盆地でいうならば、太郎山の向こうにヒマラヤの山が連なっているという感じであろうか。それで住みやすかったというわけではないが、私はネパールに住んで43年になる。きっかけは、1962年にヒマラヤ登山に出掛け、ネパールの人たちの貧しく厳しい生活の実態に触れ、そうした社会で自分に何かできないかと考えたのが端緒であった。そのころ、すでに公害が叫ばれていた川崎の工場地帯で働いていた私は、ネパールの素晴らしい自然に魅せられ、そうした自然の中で生活したいと考えたこともネパールに住みついたもう一つの理由であった。



ホテル・エベレスト・ビューから見たエベレスト (左) とローツェ (右)

まだ日本大使館も無いころであり、登山で知り合ったネパールの友人を通じネパール政府と直接交渉。同政府の案内工業局の技術アドバイザーとして2年契約を結び、66年ネパールに出掛けた。

しかし、そこで得た結論は「ネパールは工業より観光だ」という

ことであった。それを実行に移そうとエベレストの近くにホテルを建てるなどして、その後40年間、私はネパールの観光産業の進展と歩を同じくして歩いてきた。

▼ネパール国籍を取り政党結成

この年月の大半、ネパールの政治にさして疑問を持つことも無かった。ネパールは90年、国王親政が終わりをみて、以後民主化といわれる政党政治に移った。

しかし、その後に来たものは、政治が国民の意思を反映したとはとても言い難く、新しく選ばれた政治家たちは党利党略に走り、権力闘争を繰り返すばかり。国民生活を一層混乱におとじているように見えた。失われた10年どころか、すでに失われた20年である。

問題なのは、それがいつ終わるか、すでに失われた20年である。知れないというところにある。民主化が正しく機能しない現実、私はもう少し何とかならないものかと考えた。

そのこととは別に、私には、ネパール国中を延べ1000余日かけ、くまなく歩き回って作成したネパールの総合的国土開発プランがあった。その計画のうちの一つでも実現して欲しい。この二つのことが混ざりあって、それを日本人としてではなくネパール人とし

て発言したい。そう考えて、私はネパール国籍を取得し、それがエスカレートして政治の場を借りて発言しようとして政党を立ち上げた。

▼真の民主化を目指して

王制がよいとは言わない。ただ、今までに主張してきたことの一つに、ネパール人の国民性とネパールの伝統・風習、そして地政学を考えたとき、日本のような立憲君主制をとった方が平和的かつ国家統合に有効ではないかということがある。

国王を国家元首として存続させて、日本や英国、そしてスカンディナビア諸国のように、国王の権限を憲法(英国は不文憲法)で厳格に規定し、その民主性と正統性をネパールであればこそ、うたってもらいたかった。

しかし、共産党勢力が強くなつたネパールは、1年前の5月28日に王制を廃止し、国名を「ネパール民主連邦共和国」に変えた。民主主義の土壌となるべき国民の政治意識と民主的信条が普及していない中で政治が行われているという現実、民主化が必ずしも正しく機能しない状況を見て、私も一部のネパール人と同様、その狭間にあってジレンマに陥らざるを得ない。

私たちの政党は、1年前の制憲議会選挙では惨敗した。いま、2年後の普通総選挙に向けて、終わりが見えない私自身の闘いが続く。ネパールは自然が素晴らしい。そして大きな可能性を秘めた国である。それを損なわないでほしい。かつ無益な犠牲を払わないで国が発展してほしい。そう願いながら、そのことをいましばらくは主張し続けていきたい。

ソフトウェアの

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F

TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836

URL <http://www.s-giken.com>



TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater
“発想は自由楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

株式会社 トイズファクトリー

代表取締役 井出 孝光(61期)

◎Mr. Children

◎ゆず

◎BUMP OF CHICKEN

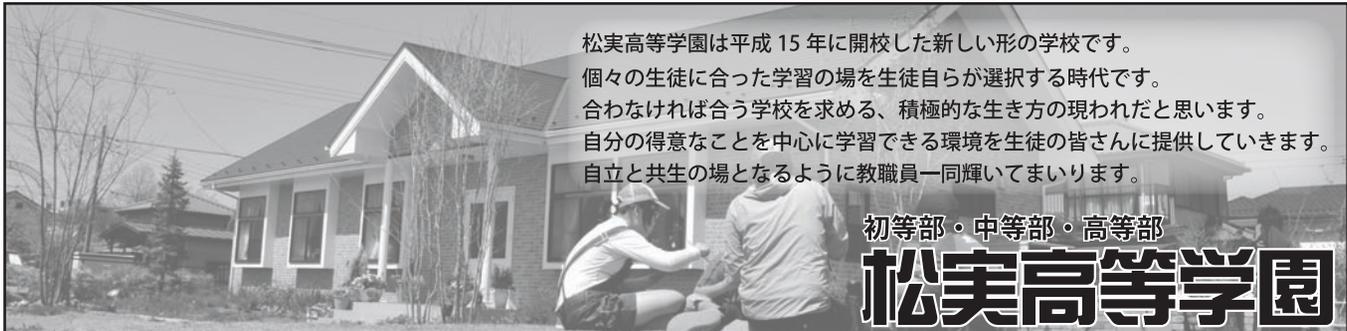
◎ケツメイシ

◎RAG FAIR

◎上松秀実

◎湘南乃風

◎UNISON SQUARE GARDEN



松実高等学園は平成 15 年に開校した新しい形の学校です。
個々の生徒に合った学習の場を生徒自らが選択する時代です。
合わなければ合う学校を求め、積極的な生き方の現われだと思えます。
自分の得意なことを中心に学習できる環境を生徒の皆さんに提供していきます。
自立と共生の場となるように教職員一同輝いてまいります。

初等部・中等部・高等部

松実高等学園

学園長 松井石根 (60期) 〒344-0067 埼玉県春日部市中央 1-55-15 <http://www.matsumi-gakuen.net>



第一会計コンサルタント Daiichi Kaikei Consultant

お客様の立場で企業
経営をトータルに
バックアップします

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-46-3 CIMA100ビル5F
TEL 03-5992-4981(代表) FAX 03-5992-5090
URL <http://www.dkc-g.co.jp> E-mail kubo@dkc-g.co.jp

代表取締役

久保 柳哉 (60期)

旅行代理店

(株)トラベル・アイ

永年のキャリア
信用と誠実第一

旅のことならなんでもお気軽にお問い合わせください。

〈海外旅行〉

各種パッケージツアーの販売

割引航空券・ツアー販売(世界各地)

団体企画

〈国内旅行〉

貸切観光バス手配

全国旅館・ホテル手配

渋谷区東 3-17-11-301

TEL (03)3442-4381(代)

代表取締役 秋田 勇 (62期)

早稲田大学名誉教授・濱義昌先生・開発 超高性能 エンジンオイル添加剤 TODO ナノワークス

「ナノワークス」は、あらゆる機械の金属摩擦面のフリクションロスを減少させます。
自動車においては、燃費を改善し、排出ガスを削減します。

人と地球の健康を願う「環境企業」

藤堂インターナショナル株式会社 代表取締役 小山 雅堂(65期) 担当責任者:小宮山 (65期)

〒146-0094 東京都大田区東矢口3-30-12祥明ビル TEL:03-6825-7000 URL:<http://www.todo-nanoworks.com>



竹内 仁 2010	松田光一 2009	山岸宜公 2008	竹倉征詞 2009	三井文人 2013	藤川 昇 2011	宮原 豊 2011	小林則夫 2008	鈴木巳季 2008
田代和美 09	宮坂幸雄 08	山邊光一 10	武田直樹 11	宮坂 清 09	坂保証司 08	森 則雄 08	渋谷 稔 10	長谷川 剛 09
立岩 環 11	望下廣勝 09	吉池正樹 08	田中良樹 08	宮島英紀 28	保屋野美智子 12	柳沢光美 11	中村喜嗣郎 08	81期
田辺順一 15	望月英明 08	吉池千冬 09	田中武夫 10	麦島和子 10	山浦 衛 10	山浦陽士 08	花岡千賀子 09	今田明日香 11
田村 功 11	山浦 武 09	依田康徳 10	田中 節 11	望月 信 17	山浦成子 08	山浦敬夫 12	藤野里美 08	小池 徹 08
鳥居次生 12	山浦有二 08	59期	田中誠一 08	山浦直次郎 08	山浦善樹 09	山辺良樹 09	丸山清光 10	桜井仁徳 08
永井佳雄 08	山崎紀典 09	荒井理夫 08	田中一穂 12	吉澤善男 12	山浦富雄 08	横関洋一 10	緑川正博 13	立木富恵 09
長坂光登 09	山崎逸雄 08	有賀勝雄 12	塚田 晃 10	62期	山本寿美子 08	66期	宮下有生 08	服部みどり 08
中村甲治 09	横沢武久 14	石崎吉宏 09	戸塚武誠 12	秋田 勇 15	渡辺節男 08	磯川周治 11	虫明陽子 12	82期
中村 勉 10	若林 篤 08	石塚洋一 09	長崎 誠 09	浅井保雄 11	64期	伊藤富士男 08	矢澤清子 08	荻野 健 08
成田邦夫 11	渡辺浩通 13	指宿淑子 10	中島恭一 09	有賀幾夫 08	浅井康彦 11	今井郷子 09	71期	田玉智明 10
新沼淳雄 08	渡辺静雄 10	岩崎忠夫 10	中島 亨 10	有光忠夫 08	荒井裕司 08	大石雄司 09	赤木千江子 09	堀田きよみ 09
西沢興宣 12	58期	大日方勝利 21	西沢國隆 09	岩井重一 18	有賀 猛 11	荻原芳明 08	小林清隆 08	83期
西島幹夫 10	青木 淳 09	柿崎靖夫 12	沼形泰枝 13	片山隆行 09	石井則男 08	鬼久保潤一 10	近藤 徹 09	榎本かおる 08
羽島昭一 11	赤池三男 08	掛川勝司 10	羽毛田 信 10	川上千秋 08	一瀬清治 11	北澤英男 12	高木 繁 10	大野聡子 09
瀧村邦夫 12	荒井公雄 08	加藤 高 08	橋詰武敏 11	木内和宣 09	一場美智子 08	北島良男 11	望月英和 08	佐藤士保子 08
平尾充雄 11	井沢 敬 19	木下頼夫 12	久田英保 08	栗山正雄 09	奥村恭子 12	小山 茂 09	72期	竹内延彦 09
平野武明 12	磯部由紀子 08	小林芳友 10	平林 久 13	小泉邦夫 10	小野沢常裕 13	清水 理 09	朝川雄二 09	山本 稔 08
藤沢行雄 12	伊東啓治 13	小林宏行 08	福嶋 宣 19	小小平六 09	小野博見 08	清水通男 19	今井一郎 09	84期
松井廣通 09	伊東紀男 12	小林賢一 10	古川 敦 09	斎藤美敏 14	北原巖男 11	田口 博 09	榎本美智子 08	児玉直美 08
松瀬勝彦 08	伊藤文明 09	小林朋晃 09	古屋明子 08	坂口典和 11	小松正佳 08	竹内豊和 09	氣田夏子 12	山岸勝博 09
翠川和彦 08	大井秀三郎 13	小林義典 09	前田尚武 12	塩入睦夫 08	塩川伸明 08	田中 茂 11	小宮山修邦 10	85期
宮坂 卓 08	大日向寛敏 10	坂口茂夫 08	松井石根 12	塩入功三 09	清水安雄 08	田村和枝 10	関 博明 08	近藤弘司 11
村井 弘 08	片岡春雄 12	櫻井資悦 10	松松純夫 16	清水輝夫 09	清水淳郎 08	堀内ふき 10	竹内功一 09	86期
村山 剛 13	金井 久 09	重原正治 08	丸山久勝 14	関 健三 08	関川 哲 10	宮坂栄一 08	田中 誠 13	住田陽子 08
安田 明 09	金子親碩 12	清水 和 08	三井武雄 08	関 祥行 11	高梨芳男 11	67期	塚原三喜夫 08	87期
柳沢安信 09	鎌原昭治 10	清水侯博 09	村田正男 09	高梨幸男 13	竹内中和 11	石田清典 08	長坂武見 12	北村玲子 08
横沢敏雄 08	北澤 彰 09	関 和明 09	森田英明 09	高松郁夫 13	田中耕一 10	岩崎 章 09	福田礼子 08	89期
横島庄治 10	北村尚巳 08	関根克郎 11	安間 襄 08	滝澤 淳 09	辻 佐知子 12	生島久資 08	船渡和男 10	野澤郁子 12
若林克寿 10	久保田達夫 13	関本桂子 10	柳沢直治 08	田島善光 14	直井隆徳 11	熊坂文成 10	依田昌樹 08	92期
57期	倉島今朝徳 21	田村 功 08	山本哲之 13	土屋和猛 10	永井信介 10	小林みゆき 08	73期	橋本真弓 08
青木周二 08	小池 晃 11	西沢正浩 08	渡辺俊彦 12	中澤裕治 16	中西載慶 13	小松康夫 10	阿部直彦 08	95期
有井 毅 10	神津 進 12	萩原清人 11	渡辺達三 11	中村房子 16	野村 一 11	坂口公一 09	尾神通久 10	橋本清香 08
池田教範 17	小島佳雄 09	長谷川久二 18	61期	中村幸一 08	藤巻禮子 08	佐々木美千代 08	河野嘉子 12	97期
池田盛司 17	後藤史郎 13	羽田幸善 12	新井袈裟光 13	中村真一 09	高松賢一 12	田中啓子 12	須貝 博 08	鈴木葉子 08
宇賀神一雄 09	小林俊雄 11	羽田幸昌 09	池田 稔 08	中山君平 08	宮坂信之 11	谷合裕子 09	藤木和彦 10	露久保智美 12
白田茂二 11	小林慶三 10	藤倉恵子 09	市川武伸 13	橋詰剛史 09	宮澤康元 08	堤 達 08	74期	依田恵美子 10
榎本金二 10	小山 泰 11	町田克二 12	井出孝光 13	花岡孝雄 13	村居次雄 10	長谷川榮一 08	大場英昭 08	99期
大谷光弘 10	小山捷二 12	水出清仁 14	井上 剛 09	松井由美 15	柳田 稔 12	丸山博見 12	荻原正典 08	中田雄人 08
岡川章夫 09	桜井兼三 08	森 嶺夫 08	内山澄孝 08	松山 武 12	数原和男 08	水島良子 09	荻原久俊 09	100期
加賀美欣二郎 10	桜井成樹 12	柳澤善明 16	大井 剛 09	真山隆夫 11	山本淳一 09	村越 進 08	坂口洋三 10	小池伸太郎 08
金澤昭義 10	佐藤鐵也 08	山口元彦 08	大草猛生 12	丸山 茂 08	吉崎芳郎 09	山下一雄 12	土屋三千夫 09	甲田英史 08
神林英男 08	品川勇一 12	山崎勝二 09	大澤義隆 08	宮崎信二 19	65期	山本修士 09	林 幸平 09	田中悠樹 11
久保新一 09	清水壽一 11	60期	荻原聖巳 08	室賀太郎 13	赤尾晴夫 08	68期	75期	柳澤直子 08
倉島俊二 08	城下 尚 09	青柳偕行 08	荻原隆治 14	柳沢昌俊 09	池田恵一 11	稲寺 隆 09	竹内幸隆 08	101期
桑原恒雄 10	高橋福幸 09	池田 清 09	奥村喜美子 10	柳澤敏雄 09	岩崎ひとみ 10	碓田 茂 13	羽田 平 09	羽田ゆう 08
小島吉男 09	滝沢信夫 11	井上 茂 09	尾和正暉 18	依田欣五郎 12	岩崎和雄 10	金子元昭 12	宮島省吾 13	102期
小島士郎 12	滝澤一彦 10	今井勇雄 11	加賀美德行 11	63期	上原 昇 08	工藤敏夫 09	山田美紀 09	久保田智史 08
小林健二 08	田中 剛 09	上原悖子 11	笠井徳爾 12	青木郁夫 12	内堀 信 13	小山 実 10	山本享子 08	永井加奈子 08
近藤郁雄 13	手塚信康 09	大草 進 08	片瀬喜雄 08	浅野幸司 11	宇野直幸 11	塩野入文雄 12	和氣寿子 08	103期
清水康弘 10	手塚洋兵 12	大橋邦夫 09	岸田 勇 08	飯島正文 08	大町教子 08	芝間伸剛 18	和氣寿子 08	佐藤 有 08
白倉憲二 09	寺島知恵子 13	尾上朝子 08	沓掛 忠 10	飯塚一雄 10	折井正博 14	土屋耕太郎 11	渡辺聡明 22	塩澤陽香 09
鈴木芳枝 10	寺島紘士 13	風間文彦 11	久保田敬雄 09	大塚和弘 10	菊地暁子 12	中川彰雄 09	76期	高橋茉莉子 08
関 行裕 09	中沢則夫 08	川上知行 14	神津英明 08	荻原英夫 10	甲田幹夫 12	中島みどり 15	白田 滋 08	矢口 寛 08
高木佳年 11	中島秀忠 12	北原英孝 12	小林宣光 09	上条和祥 11	小林国雄 08	松山研治 10	内山憲一 09	依田秀男 10
滝澤紀夫 10	中島勇司 12	沓掛行徳 10	小山 満 11	神林 森 11	小山雅堂 11	丸山洋一 12	佐藤美恵子 09	104期
滝澤文雄 09	中村国武 10	久保柳哉 14	坂井英樹 08	川村恭司 08	柴田正文 09	宮川俊晴 12	福井正彦 17	福井正彦 17
武井和雄 09	中村 敏 11	黒澤博身 14	関 勝 12	北沢昌規 08	清水俊文 09	山本近雄 11	堀籠秀直 10	105期
竹内 昭 09	西澤益男 09	神津英明 08	高橋宗雄 09	小高崇男 09	関森寿一 10	横山佐苗 10	77期	射手優輝 08
竹花正博 08	仁平光義 08	甲田 奏 08	高橋宗雄 09	小林諒一 09	高畑悟郎 09	69期	草間和幸 08	岩田菜里子 11
田沢雄二郎 12	波田野 浩 08	小関夏子 08	滝澤 進 09	小林正則 11	瀧沢政視 13	池田有美子 09	黒澤太平 09	荻原美洸 08
田村義昭 20	林 忠行 08	小林公幸 08	滝沢雅男 08	小林悠一 19	田中 昇 08	尾立孝司 10	佐藤之俊 10	片桐雅彦 08
中澤啓司 13	林 嘉市 16	小松有也 13	田沢 洋 14	関田正幸 10	田中由紀子 09	蟹江由美子 12	78期	清水文彦 08
西尾紀一郎 14	星野和俊 13	斉藤 官 08	田沢 洋 14	滝沢鐵夫 15	田村栄治 13	倉沢 裕 08	鵜殿理枝 12	高柳賢治 09
野田晃弘 10	堀内 昭 14	斉藤建次 08	成沢文計 08	滝井長久 10	田村一平 13	清水龍夫 08	小相沢直美 08	羽田えみ 09
箱山 雍 23	本田祥治 10	塩川英世 09	西澤正捷 16	田中 稔 12	仲澤 正 09	土屋文男 09	渡邊 博 15	水野高夫 12
畑 勲 12	宮川克彦 16	清水敏弘 09	羽毛田仗一 17	角田玲子 11	西澤省悟 10	栃原重文 12	79期	六川美奈 08
平林弘義 08	宮原清明 10	清水幸雄 09	林 勝秋 08	中沢秀夫 10	馬場和幸 12	藤谷芳子 12	今井 明 11	106期
保科政男 11	宮原安春 09	下里 剛 10	半田利雄 09	中山和彦 10	深町美由 09	吉村邦彦 13	荻原 貴 09	堀 淳志 08
堀 英毅 09	宮本忠昭 16	白井 透 13	星山輝男 08	成澤三幸 24	丸山隆平 08	70期	清水雄至 10	計1,127人
堀内 毅 12	百瀬和紀 18	袖山 脩 09	細萱英久 10	西澤正雄 09	丸山暢久 11	小池朋子 11	松尾 弘 10	
本田 健 09	森 邦夫 13	鷹野芳機 10	堀内寿美 23	林 壮治 10	宮川恵三 11	80期	會田信子 26	
松木 功 17	矢嶋瑞夫 15	竹内善尉 08	町田 章 09	平林善夫 08		小林 章 08	小林 章 08	



年会費納入者一覧 (2009年3月末現在)

- ▶年会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。一覧は2008年度以降の年会費を納入した方(1,127人)です。
- ▶名前の後の数字は、その年度まで前納したことを示しています。(例：09=2009年度分まで納入済み)
- ▶会報に同封の年会費の直近納入日、納入期限をご参照ください。80歳以上の方は年会費免除です。
- ▶過年度分未納の方は、さかのぼって納入する必要はありません。納めていただいた時点からカウントいたします。

お問い合わせ先：事務局（幹事長）笠井徳爾まで TEL/FAX 03-3652-2803

31期 土屋 学 2010	45期 掛川暉夫 2010	掛川周男 2013	翠川 輝 2010	上原 昂 2009	小林盛男 2010	杉浦醇一 2011	滝澤陸夫 2010	清水好昭 2013	
32期 水野利男 12	児玉和己 09 森 茂 16	熊川次男 08 小林富士雄 15 小林芳彦 13	宮坂 博 19 柳沢敏郎 10 山岸萬亀男 11	白田 稔 09 内久根孝一 10 太田幸男 14	小林孝典 24 佐々木淳二 18 柴田正人 13	須田武久 08 芹沢袈裟三 09 高木快雄 09	竹内 節 10 竹重節雄 13 田中嘉親 30	杉原積雄 12 関 五郎 12 滝沢 傳 13	
35期 滝澤 正 16	有賀 治 14	小松昭威 11 坂梨 港 08	山崎陸夫 08 依田好雄 08 渡辺侃治 11	小胎治雄 09 小野澤哲夫 08 掛川國雄 10	新保知右喜 13 須藤尚彦 15 関 正利 10	武井 淳 10 武重賢治 08 塚田 靖 11	玉野敏雄 09 田村 朗 12 千村一平 09	滝沢克彦 12 滝沢 讓 09 滝沢哲三 10	
36期 滝澤克己 09	出浦 仁 09 神林常規 11	篠原泰司 10	50期 五十嵐明迪 11	鎌野秀嗣 08 蒲生卓磨 09 倉沢直哉 14	高松健治 10 滝澤 格 09 田口修三郎 11	土屋 隆 08 寺西 孝 09 中島 均 09	土屋晃一 10 寺島重暉 10 中島隆之 08	田玉尚武 09 塚田忠夫 10 塚田征司 09	
37期 清水志郎 10	工藤忠房 11 久保宗一 09	城下栄三郎 08 春原 寛 16	石井敬二 11 井出藤壽 10 尾台 久 10	黒川嘉郎 09 小林英一 12 清水英明 09	土屋義子 09 中村茂之 10 橋爪今朝男 13	服部聡一郎 33 半田義昭 10 半田喜章 10	中村一彦 12 中村忠勝 13 成田崇宏 12	土屋 務 09 土屋英明 10 鶴見貞夫 12	
39期 菊地 博 16 永田幹夫 08	清水巻郎 09 長谷川 潔 09	高柳直樹 11	金井忠雄 27 金井昭夫 09 鹿野耕次 08	清水 順 12 滝澤英彦 19 龍野勇介 09	藤井清彦 11 古川 一 26 松崎義一 08	藤井眞澄 08 藤森善也 08 山邊一磨 09	橋田ちせ 09 花房伸吉 10 馬場武彦 09	川川晃夫 15 長峯道明 14 成澤祐介 09	
40期 今井甲子雄 08 児玉安彦 10 森山博司 13 吉田節生 09 渡辺久雄 09	丸山浩一 08 水澤 博 11 三井 周 08 宮坂修一 08 宮沢 寿 12	竹内一夫 09 田原 敬 10 塚田正直 08 土屋 亮 09 土屋侃司 09 中村哲治 09	石井一郎 14 石井敬二 11 北川嘉一 09 藤藤夫 10 久保長行 09	黒川嘉郎 09 清水英一 12 清水 順 12 滝澤英彦 19 龍野勇介 09 徳永慈宏 08 中澤良行 12 中島 宏 18	黒川嘉郎 09 中澤良行 12 中島 宏 18 中曾根 聡 13 中山隆雄 13 成澤誠司 21 長谷川孝一 13 早川正範 08 坂坂利勝 08	藤井清彦 11 古川 一 26 松崎義一 08 松沢秀雄 10 三浦健一 08 水出康雄 10 宮島廣人 09 森 浩一 09 矢島寛文 08 柳沢 忠 10 柳澤浩二 09 山岸一夫 08	半田義昭 10 半田喜章 10 藤井眞澄 08 藤森善也 08 山邊一磨 09 堀内 福 09 堀内忠久 18 堀内正智 08 増田隅雄 12 宮入毅匡 08 宮川澄男 08 村山憲太 12 柳澤浩二 09 山岸一夫 08	鶴見貞夫 12 川川晃夫 15 長峯道明 14 成澤祐介 09 橋詰孝子 13 長谷川正紘 08 羽田 宏 09 波田野 彰 08 樋口宣明 08 平野 誠 10 間島 誠 13 松尾 裕 08 緑川 浩 08 宮入健二郎 09 宮崎親作 12 宮崎武男 08 宮沢壮介 08 横山博 10 望月源治 11 柳沢伸勇 12	
41期 生島信夫 08 古松 彰 10 宮下俊夫 14	飯田久夫 10 井出周利 12 上原 亨 08 片山治夫 09	平林直之 10 堀内道夫 08 堀内 惇 10 峯村千徳 11 小林幸夫 08 小山邦介 08 小山洋之介 32 清水正晴 09 山崎延秋 08	久保田 滋 09 興水朝治 09 児玉忠雄 11 小林幸夫 08 小山邦介 08 小山洋之介 32 清水正晴 09 袖山睦啓 10 滝沢主計 09	中島 宏 18 中曾根 聡 13 中山隆雄 13 成澤誠司 21 長谷川孝一 13 早川正範 08 坂坂利勝 08 堀内照雄 17 堀内弘栄 13 丸山瑛一 12 丸山 弘 12 丸川 司 09 宮澤正躬 09 村田 寛 13 母袋博一 10 八木浩輔 13 柳沢 純 19 柳沢 暁 08 山田直衛 14 山邊俊一 08 横島義之 13 吉沢深二 12 六川二郎 13 六川博輔 16	宮島廣人 09 森 浩一 09 矢島寛文 08 柳沢 忠 10 柳澤浩二 09 山岸一夫 08 山崎達夫 12 山本一夫 08 山本農夫彦 10 若林清和 12 飯島秀子 08 飯島房也 08 井澤 保 08 出野今朝雄 09 井上真人 10 岩崎 涉 11 岩田 久 11 大久保正寿 08 大久保慶次郎 10 大塚昌宏 10 大塚教夫 09 尾崎俊朗 12 尾澤正毅 09 加々井悦朗 12 掛川弥永 08 掛川多美雄 12 懸川文夫 12 呉 公一郎 12 柏村孝行 21 川村作子 08 小泉勝夫 08 小出 武 12 小林忠夫 09 小林乾泰 11 小林 哲 08 小山 哲雄 08 坂口茂廣 08 佐藤明朗 08 塩野入 剛 13 下崎和彦 09 白井信行 08	山崎達夫 12 山本一夫 08 山本農夫彦 10 若林清和 12 飯島秀子 08 飯島房也 08 井澤 保 08 出野今朝雄 09 井上真人 10 岩崎 涉 11 岩田 久 11 大久保正寿 08 大久保慶次郎 10 大塚昌宏 10 大塚教夫 09 尾崎俊朗 12 尾澤正毅 09 加々井悦朗 12 倉島 彰 09 黒岩千鶴子 13 黒川次郎 10 呉 公一郎 12 神津勝重 13 小菅健司 09 後藤人三 12 小林勝利 23 小林干城 10 齊藤智巳 09 櫻井 敬 09 滋野三樹 08 篠原宥司 13 関 正勝 09 滝沢義信 12 滝沢 正 08 滝沢英統 10	宮崎親作 12 宮崎武男 08 宮沢壮介 08 横山博 10 望月源治 11 柳沢伸勇 12 柳沢 輝 08 柳澤 明 08 山浦輝信 08 山崎茂幸 09 山本大吉郎 13 小川 廣 08 荻原統夫 13 河西秀夫 09 菊島和宣 09 久島貴代江 09 沓掛文哉 08 倉島 彰 09 黒岩千鶴子 13 黒川次郎 10 関 正勝 09 神津勝重 13 小菅健司 09 後藤人三 12 小林勝利 23 小林干城 10 齊藤智巳 09 櫻井 敬 09 滋野三樹 08 篠原宥司 13 関 正勝 09 滝沢義信 12 滝沢 正 08 滝沢英統 10	宮崎親作 12 宮崎武男 08 宮沢壮介 08 横山博 10 望月源治 11 柳沢伸勇 12 柳沢 輝 08 柳澤 明 08 山浦輝信 08 山崎茂幸 09 山本大吉郎 13 小川 廣 08 荻原統夫 13 河西秀夫 09 菊島和宣 09 久島貴代江 09 沓掛文哉 08 倉島 彰 09 黒岩千鶴子 13 黒川次郎 10 関 正勝 09 神津勝重 13 小菅健司 09 後藤人三 12 小林勝利 23 小林干城 10 齊藤智巳 09 櫻井 敬 09 滋野三樹 08 篠原宥司 13 関 正勝 09 滝沢義信 12 滝沢 正 08 滝沢英統 10	56期 赤尾信吉 14 飯高盛龍 12 上原清治 11 内海章緒 19 大久保治夫 10 大塚明彦 10 大日方 昂 08 岡田建治 10 河西邦彦 12 笠原征夫 13 風間英信 13 柏木 進 08 金澤正人 09 神津 進 14 甲田洋二 13 小平節夫 09 小林建夫 08 小林英郷 11 小山莊司 09 近藤 勲 10 坂田治三郎 11 笹澤政道 14 佐藤英和 11 佐野勝雄 08 柴田義人 09 関 勝久 12 瀬下正利 13 滝沢 健 12
42期 岩下 實 10 栗田裕夫 13 小山成安 08 橋本英典 11 増田官太郎 08 宮本 武 08	加藤文郎 10 金子 宏 10 柄沢和彦 11 清宮栄市 08 沓掛元砥 09 窪田富男 09 小山邦朋 10	飯島弘行 09 石井智憲 09 石塚民雄 12 榎本秀雄 20 荻原 賢 13 小澤泰爾 11 小野 実 12 風間 充 08 加藤 毅 08 久保利夫 12 桑原洋助 08 花村義六 09 小林齊之介 08	49期 青木喜久彌 09 芦田 純 10 飯島弘行 09 西野 明 11 沼田 淳 09 馬場進吉 18 堀内健二 10 柳沢 純 19 柳沢 暁 08 宮原省三 22 宮本嘉興 13 室賀超八郎 09 麴 滋 09 柳沢洋一 08 柳澤正人 08	52期 青木 功 27 赤池孝之 11 飯島孝一 13 飯塚和男 16 池田松子 09 生駒利行 13 石合正和 12 稲垣正武 09 掛川十次郎 11 掛川正司 13 片山浩之 10 川村 努 09 久保治良 09 古平伸吾 14 小林武彦 13 小林俊憲 13	53期 阿久津義雄 11 浅野井 恭 12 安土忠男 08 飯島秀子 08 飯島房也 08 井澤 保 08 出野今朝雄 09 井上真人 10 岩崎 涉 11 岩田 久 11 大久保正寿 08 大久保慶次郎 10 大塚昌宏 10 大塚教夫 09 尾崎俊朗 12 尾澤正毅 09 加々井悦朗 12 掛川弥永 08 掛川多美雄 12 懸川文夫 12 呉 公一郎 12 柏村孝行 21 川村作子 08 小泉勝夫 08 小出 武 12 小林忠夫 09 小林乾泰 11 小林 哲 08 小山 哲雄 08 坂口茂廣 08 佐藤明朗 08 塩野入 剛 13 下崎和彦 09 白井信行 08	54期 有賀俊雄 11 石井政雄 08 石井光春 09 石原澄江 09 市河富弘 14 大矢憲明 12 小川 廣 08 荻原統夫 13 河西秀夫 09 菊島和宣 09 久島貴代江 09 沓掛文哉 08 倉島 彰 09 黒岩千鶴子 13 黒川次郎 10 関 正勝 09 神津勝重 13 小菅健司 09 後藤人三 12 小林勝利 23 小林干城 10 齊藤智巳 09 櫻井 敬 09 滋野三樹 08 篠原宥司 13 関 正勝 09 滝沢義信 12 滝沢 正 08 滝沢英統 10	55期 青木幹男 08 秋葉光廣 09 荒井恒雄 10 飯島慶三郎 14 伊藤典久 10 井上 馨 08 内堀眞彦郎 08 荻原光夫 11 寛 正博 12 片岡恒夫 09 川上博美 08 木村和幸 11 草間 孝 08 沓掛勝利 10 沓掛正幸 13 倉見英一 10 黒岩 了 09 小宮山忠彦 09 小山治卓 08 坂口宏明 09 坂口守夫 10 清水武雄 08		
44-5期 市川俊夫 08 大塚 寿 08 北澤 守 11 久保田昭寿 12 古平照男 08 児玉喜年 11 小林義徳 11 田中悦次 08 原嶋佐吉 08	島津度一 08 関本秀治 11 田澤 徹 09 土屋 博 10 中村義夫 10 成田光夫 09 西澤祥平 11 西村 勉 10 花村義六 18 馬場善一 08	48期 深井明爾 10 牧内 操 14 丸山栄一 20 三浦嘉治 17 中山令二郎 09 小山和男 08 高橋昭平 09 滝沢源平 08 竹内秀彦 23 手塚榮三郎 08 土肥幹夫 08 所 昭三 08 中村 強 10 星野賢造 08 丸山慶三 08 柳沢清史 08 山本太一 08	48期 樋村晃一 08 堀内真次 08 前田芳造 09 牧内泰道 18 町田健一 08 松岡秀夫 09 松本初男 20	51期 青島昭久 10 浅野井 哲 12 荒井一男 08 有賀秀雄 12 飯塚 壽 11 池田義雄 18 市川慶伍 08 井出英三郎 10 上原隆雄 09	52期 青木 功 27 赤池孝之 11 飯島孝一 13 飯塚和男 16 池田松子 09 生駒利行 13 石合正和 12 稲垣正武 09 掛川十次郎 11 掛川正司 13 片山浩之 10 川村 努 09 久保治良 09 古平伸吾 14 小林武彦 13 小林俊憲 13	53期 阿久津義雄 11 浅野井 恭 12 安土忠男 08 飯島秀子 08 飯島房也 08 井澤 保 08 出野今朝雄 09 井上真人 10 岩崎 涉 11 岩田 久 11 大久保正寿 08 大久保慶次郎 10 大塚昌宏 10 大塚教夫 09 尾崎俊朗 12 尾澤正毅 09 加々井悦朗 12 掛川弥永 08 掛川多美雄 12 懸川文夫 12 呉 公一郎 12 柏村孝行 21 川村作子 08 小泉勝夫 08 小出 武 12 小林忠夫 09 小林乾泰 11 小林 哲 08 小山 哲雄 08 坂口茂廣 08 佐藤明朗 08 塩野入 剛 13 下崎和彦 09 白井信行 08	54期 有賀俊雄 11 石井政雄 08 石井光春 09 石原澄江 09 市河富弘 14 大矢憲明 12 小川 廣 08 荻原統夫 13 河西秀夫 09 菊島和宣 09 久島貴代江 09 沓掛文哉 08 倉島 彰 09 黒岩千鶴子 13 黒川次郎 10 関 正勝 09 神津勝重 13 小菅健司 09 後藤人三 12 小林勝利 23 小林干城 10 齊藤智巳 09 櫻井 敬 09 滋野三樹 08 篠原宥司 13 関 正勝 09 滝沢義信 12 滝沢 正 08 滝沢英統 10	55期 青木幹男 08 秋葉光廣 09 荒井恒雄 10 飯島慶三郎 14 伊藤典久 10 井上 馨 08 内堀眞彦郎 08 荻原光夫 11 寛 正博 12 片岡恒夫 09 川上博美 08 木村和幸 11 草間 孝 08 沓掛勝利 10 沓掛正幸 13 倉見英一 10 黒岩 了 09 小宮山忠彦 09 小山治卓 08 坂口宏明 09 坂口守夫 10 清水武雄 08	

運営基金拠出者

(08年4月1日～09年3月31日の拠出者)

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
33	中沢亮太	10,000	47	牧内 操	20,000	60	松井石根	10,000
33	原田親貞	30,000	49	新井通夫	10,000	61	滝澤 進	10,000
34	松井正直	10,000	58	星野和俊	10,000	8人、11口		110,000

寄付者 / 寄付グループ

(08年4月1日～09年3月31日の寄付者)

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
31	土屋 学	10,000	59	大日方勝利	1,000	66	清水通男	1,000
32	中村禮三	2,000	59	清水侯博	1,000	67	山本修士	1,000
33	中沢亮太	10,000	59	西沢正浩	1,000	69	土屋文男	2,000
42	増田官太郎	2,000	60	大橋邦夫	1,000	71	近藤 徹	2,000
42	横山誠之助	2,000	60	齊藤 官	8,000	73	鮫島恵子	2,000
47	柄沢和彦	1,000	60	白井 透	12,000	77	黒澤太平	2,000
47	三浦嘉治	8,000	60	日置勇二	50,000	79	今井 明	1,000
48	田原 敬	2,000	60	平林 久	10,000	80	會田信子	20,000
49	荻原 賢	5,000	60	福嶋 宣	2,000	94	倉島優一	5,000
49	堀内寅次	1,000	60	松林純夫	2,000	100	田中悠樹	2,000
50	石井敬二	1,000	61	尾和正暉	3,000	104	佐藤英則	1,000
50	久保田 滋	1,000	61	笠井徳爾	20,000	60期同期会		51,000
51	丸山 弘	1,000	61	玉木純雄	2,000	60期有志		6,100
53	大塚教夫	1,000	61	山浦直次郎	2,000	67期事務所利用料		2,000
54	有賀俊雄	4,000	62	松井由美	2,000	ゴルフ同好会		35,000
56	笹澤政道	2,000	63	上条和祥	2,000	拡大幹事会有志		7,371
57	高木佳年	11,000	63	保屋野美智子	2,000	役員会有志		24,890
58	山邊光一	2,000	64	小野博見	5,000			
59	有賀勝雄	3,000	65	小山雅堂	6,000	計49人ほか6グループ		366,361

編集長 交代しました

関東同窓会報の編集長が今回の第78号を機に、井上剛さん(61期)から真山隆夫さん(62期)にバトンタッチされました。教育出版社「学研」に勤務している井上さんは編集の大ベテラン。1996年6月の第55号から会報の編集を一手に引き受け、今回勇退されるまで実に13年間も会報発行に尽力されました。

最初にしたことは、それまで活版印刷だった会報をA4判のオフセット印刷に切り替えたこと。この時、会報はいわゆる「新聞形式」から現在の「雑誌形式」に変身しました。上田高校が創立100周年を迎えた際には、特別企画「座談会と寄稿による母校・証言の百年」を3回にわたって連載するなど、中身の濃い紙面づくりに努力されました。

井上さん、長い間ご苦勞さまでした。

訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

26期 西沢 佶	2007年	42期 池内 公	2008年12月2日	64期 志摩亮平	1993年11月18日
28期 小林清次	2007年11月24日	42期 渡辺忠良	2006年7月26日	72期 柴田壽子	2009年2月4日
29期 岩下美千穂	2008年10月11日	44-4期 堀内茂雄	2008年5月24日		
31期 矢ヶ崎広一	2007年11月2日	47期 齋藤正敏	2008年5月7日		
32期 宮崎光邦	2008年	47期 城下利雄	2008年10月7日		
32期 中台秀松	2008年11月29日	48期 臼田誠人	2008年8月		
33期 原田親貞	2008年2月	48期 宮山栄二	2004年ごろ		
34期 柳沢 年	2000年12月9日	48期 田中重徳	2007年9月		
35期 渋沢元則	2008年	49期 小口芳彦	2008年8月		
35期 真木徹二	2003年6月	49期 竹内政之	2009年3月28日		
36期 宮下春三	2008年7月	50期 長崎安男	2008年冬		
36期 工藤茂房	2007年11月23日	50期 半田収一郎	2007年10月		
37期 新井邦夫	2008年1月1日	50期 飯島圭一	2009年1月5日		
37期 内田重喜	2008年9月	50期 堀内陽造	2006年12月25日		
38期 阿曾英二	2008年	53期 高村俊平	2007年12月17日		
39期 塩野崎 恵	2008年2月8日	54期 小宮山英規	2008年6月4日		
39期 大塚唯男	2006年11月2日	55期 宮下衛之	2006年12月20日		
41期 金沢光男	2008年7月9日	55期 宮坂 克	2008年1月9日		
41期 成沢 淳	2006年8月	58期 鹿野永治朗	2008年3月24日		
42期 高野佐太夫	2007年9月8日	62期 上原完一郎	2003年6月25日		
42期 真山勝美	2008年12月15日	62期 福田修三	2008年7月26日		
42期 大塚成男	2007年4月25日	63期 高見沢和次	2007年8月29日		

第7代同窓会理事長

故金子八郎先輩を悼んで

(3月15日逝去)

私が関東同窓会の幹事長だったころ、母校は100周年を迎えました。100周年記念募金に大変お骨を折られた理事長さんでした。

そのころ、自社の工場が上田にあり、出張で電車に乗ったところ、お隣が金子理事長でした。どちらからのお帰りですかと、お聞きしましたら「エジプトからです。あの危険なルクソールにも行って来て満足です」と言っておられました。上田に着くまで100周年の募金のお話で終始しました。本当に母校を思ってください先輩でした。

合掌 54期 馬場武彦



会員短信

新年会への「出欠はがき」より

33期 中沢亮太

世話人皆みまかりて、同期会(33会)の活動なし。

37期 岡清助

08年をもって、諸般の理由により東京地区同期会の開催をやめる。

39期 小林良一

目が不自由なこと以外元気。

40期 児玉安彦

同期会の在京者8—10人が2カ月に1度集っています。月に1度医者に行き、薬をたくさんもらいますが、月に2—3度ゴルフができる元気があります。

40期 吉田節生(岩下改め)

40期は偶数月(6、8月を除く)の14日に渋谷で在関東同期会を開催しています。軍隊経験や上中時代の昔話から時事問題の憂慮まで活発な集いです。

41期 宮下俊夫

一六会(41期在京の会)を毎年10月第3土曜日に「ホテルフロラシオン青山」にて開催。前回は10月23日で、18人参加。

42期 栗田裕夫

陸上自衛隊第11師団長役勇退、セブンイレブンジャパン建築設備本部長、同事務取締役の後社長6年。この間の交際中小企業の方々約100人を集め相互切磋の会経営。09年、規模縮小の意図あり。

43期 佐々木三夫

クラス会は当面、中止。年相応に元気で、地域社会で合唱などをやっています。

43期 寺尾康

脳梗塞でリハビリ中。

44・4期 星野賢造

同期会「獅子の会」、クラブ柔和会を年1回開催。ソフトテニスの東西対抗で鳥取に行きました。80才以上、4チーム、東軍に選抜され参加。

47期 窪田富男

身体不自由の生活が続いています。

48期 土屋亮

昨年、48期の同期会は戸倉上山田温泉にて閉会となり残念でした。これからも関東支部にて出席したいと思っています。

48期 堀内博

48期の同期会は08年秋をもって終了。「関東48会は今後も継続し、「ミニ48」(昼食会)は数カ月ごとに開催予定。

51期 村田寛

白井会長の掲げる「原点回帰」、大いに共感します。

51期 上原隆雄

新しい試み大賛成。同窓に関心を持ってもらうには「試行継続」と信じます。

51期 八木浩輔

浦和大学学長を07年4月から務めています。Cambridge University Press(英国)から出版したテキストQuantum Physicsは幸い国内外で読まれ、昨年10月に普及版(75ドル)が出版されました。

52期 橋爪今朝男

ことしは第3回目の大宮混声合唱団のコンサートの年。全力を尽くす所存。

53期 懸川文夫

クラス会(有志)を2カ月前きに有楽町で行っています。健康第一に、暇をもてあましながら元気にしています。

54期 倉島彰

小生の実家は明治2年の騒動で放火され全焼。これは記録に名前が残っており、

54期 藤村延魚

上田高校ニュースに「郷土班」が第9回人文・社会科学コンクールで最優秀賞受賞という記事が載っており、驚きました。52年前に私たちが2年生の時に誕生させた同好クラブで、3年の時にその研究が認められ「郷土班」に昇格しました。

54期 黒川次郎

シニア向けに午後早い時間に開催していただければ、ありがたいです。

55期 成澤祐介

同窓会報「うえだ」の題名の揮毫(きごう)は14期生の稲垣征夫先輩(小諸東大、商工省—満州国官吏、本会関東支部長)です。「うえだ」発刊の前5年ほど、お手伝いしたことがあります。

小生も読みました。

55期 宮島光男

55期の関東グループは毎月第3水曜日夜、新宿中央口から徒歩3分の居酒屋「千草」で「三水会」を開催。いつも10数人が参加してワイワイやっています。次回同期ゴルフコンペは09年4月8日。上田と合同で「大浅間ゴルフクラブ」で。

56期 濱村邦夫

56期6組の同級会(六文会)の武威野支部会の忘年会が12月18日、朝霞台で行われました。参加者7人。焼酎6瓶をあける盛り上りでした。金融危機寸前に自社を売却した幸運な人もいました。

56期 赤尾信吉

上田高校柔道部会を毎年上田にて開催、東京支部会を毎年開催している。支部会長は上原氏(55期)から藤原氏(56期)に。新年度は女子部を創立予定。

56期 松瀬勝雄

遠方なので、もう少し早い時刻を希望

58期 北村尚巳

関東同窓会のウェブページに「58期生のページ」を掲載しています。アップロードは副幹事長の石井剛男さんに毎回お世話になっており、感謝しています。

58期 寺島知恵子

オープンな新年会の試みに60期代の方々に好感度で迎えられるといいですね。堀内さんのお話もお目もも楽しみになっています。

58期 森邦夫

人工透析の生活も9年目になります。通院日以外はできるだけアクティブに生活しています。

59期 清水侯博

昨年8年ぶりに東京で開催された同期会に出席しました。

59期 掛川勝司

時々59期のゴルフコンペに顔を出しています。

60期 沓掛行徳

同期会60期「青春回帰の会」を2年に1回、東京同期60期「青春回帰の会」を年2回開催。新聞班は02年1月、他1回計2回開催。

60期 小松有也

堀内君や鷹野君は同級生でしたので、懐かしい思い出がありました。

60期 橋本隆弘

東御市に母が住んでおり、年数回田舎に帰省。09年度分会費をもって脱会します。本部(上田)同窓会は継続します。

61期 吉田光明

町会長として町会世話人をしており、NPO法人理事として活動しています。

62期 諸岡健児

(堀内氏とは)柔道部2年後輩です。堀内先輩の講演、楽しみます。

63期 春原穰

文武両道。健康、長寿の秘訣(ひけつ)。甲子園1勝。久しぶり、校歌を聞きたいころとなりました。

63期 関田正幸

4組のクラス会は上田、東京と何回も開かれています。(山崎次男先生)。

65期 上原昇

新年会と夏の同期会を定期的に開催。春、夏、秋に同期ゴルフコンペ。昨年はテニスの会も始まりました。

65期 丸山暢久

会報簡易版の出来栄は大変素晴らしい内容です。送料料金ですが、年賀状の当選ハガキの切手を提出してもらって、そこそこの切手ではないでしょうか。

66期 竹内豊和

08年11月29日に66期3組の同級会を10年ぶりに開催し、旧交を温めました。

74期 三ツ井優子

白井様、会長就任おめでとうございました。25年前部下だった(旧姓)関優子です。お元気で活躍の様子うれしく拝見。私の方は一病息災でがんばっています。

80期 會田信子

名古屋大学の校風に慣れてきました。

104期 柳田晃一郎

剣道班。現在、国際武道大学にて体育分野を専攻。就職活動も楽しんでいきます。*20ページのクイズの答えは「千曲川」

「上田市」です。



NHKの気象キャスター 関嶋 梢さん(93期)



NHKの番組の中で、分かりやすく、楽しく天気予報を伝えている姿を見た人も多だろう。「お天気ですか日本列島」「ゆうどきネットワーク」「首都圏ネットワーク」に出演。いま売れっ子の気象予報士だ。番組キャスターやゲストとの軽妙なトークは、女子アナに勝るとも劣らない。

天気予報とのかかわりは、高校時代から。「上田高校では天文気象班に入っていました。何日かに1回当番で、NHKラジオの気象通報を聞いて天気図に書き込むのが日常活動。

小諸などにあった天体観測装置を備えたペンションで合宿し、流星群を観測したこともあります。入部動機はちょっと変わっている。「東部中学校時代のクラス担任（川口剛先生）が、私の高校入学と同時に上田高校に赴任し、天文気象班の顧問になったのがきっかけです」

得意科目の英語を生かそうと、津田塾大学へ。在学中に英国南部ポーンマスに1カ月、語学留学したこともある。卒業後の2000年、世界最大の気象情報会社「ウェザーニューズ」に就職した。「本当はレコード会社に勤務し、プロモーションを担当したかったんです。でも、当時は就職氷河期。希望はかないませんでした」

ウェザーニューズでは入社半年後に、衛星デジタル放送「スカパー！」などのお天気チャンネル担当に抜擢された。この間に気象予報士の資格を取ろうと一念発起。「石原良純君でも取れるのだから」などと、なめてはならない。試験には高度な専門知識も要求され、かなりの難関。「夏と冬の年2回試験があるんですが、5回以上落ちました。人生で一番勉強した時です」と苦闘の日々を振り返る。



2003年にめでたく資格を獲得。翌年にはオーディションに受かり、NHKの気象キャスターに起用された。現在は、放送業務をサポートするプロフェッショナル集団の（株）ウイングに所属する。担当番組ではアドリブが多く、いろんなハプニングも起きる。「ガッツ石松さんがゲスト出演した時、盛り上がりすぎて、お得意の駄じゃれが止まらなくなっちゃって。2分半の持ち時間のうち、残り1分しかなくなり焦りました」

「後輩に一言」と水を向けると、こんな答えが返ってきた。「私はいま『よく遊び、よく働け』をモットーにしています。上田高校の生徒はまじめで、よく勉強しますが、『よく遊び』が足りないのでは。両方に全力投入してほしいですね」

松尾倶楽部135回例会(同窓生の文化的研究会)

漢字デザインで脳を活性化!

先着順 100名

「世界一受けたい授業」の模擬体験も・・・

土曜日のゴールデンタイムで高視聴率を誇り、子供にも見せたい番組第1位になった「世界一受けたい授業」(日本テレビ系)に適時出演中の馬場雄二さん(54期)が、松尾倶楽部の例会に登場します。

全国紙(産経・朝日)に20年間デザインパズルを連載してきた実績をベースに、遊びながら脳を活性化する秘訣を、手と頭をご一緒に動かしながら公開します。

お子さん・お孫さん(小学生程度)と共に楽しめる、お話と番組さながらの授業に参加しませんか。

★優秀賞などのほか、全員に参加記念証を差し上げます。

【授業の例題】

Q1:この図を何と読む?

Q2:図の中にある市は?

答えはこの会報のどこかにあります。



馬場雄二さん(写真提供/日本テレビ)

松尾倶楽部例会

会費 5,000円 小・中・高校生無料
夏休みの子供さんの参加歓迎
会場 乃木坂 健保会館(はあといん乃木坂)
東京メトロ半蔵門線 乃木坂駅真上
電話 03-3403-0531
日時 7月25日(土) 受付 14時~
講演 15時~16時30分
講演終了後、ビール・ソフトドリンクなどの飲み物で簡単な懇親会を行います
参加申し込み
7月21日までに事務局までファックスで(03-3407-5008)。小・中・高校生の方も氏名を(受付名簿作成のため)